

福祉にいがた



新潟県社会福祉協議会
新潟県長寿社会振興センター
総合情報誌

オアシス21

No. 110

令和7(2025)年
12月

福祉にいがた 第880号(8~12面)

CONTENTS

巻頭特集

ねんりんピック岐阜

県選手団が奮闘

(2・3面)

- シニアカレッジ卒業式
- 新潟市で福祉・介護・健康フェア



絵 「サンタクロース」 作・新井 里沙(加茂市)
〈作者一言〉家にあったクリスマス飾りなどを見て描いたサンタ



岐阜の山並みを背に勢ぞろいした選手たち。中央に新潟県と新潟市の旗が見える

交流の輪 温かく



開会式でリラックスした表情を見せる新潟県選手団

総合開会式は18日、岐阜市の岐阜メモリアルセンター長良川競技場で、約1万3千人が参加して行われました。

曇り空に時々小雨が交じるあいにくの天気でした

新潟県選手団100人躍動 相次ぐ好成績、あふれる笑顔

スポーツや文化活動を通じて、高齢者が健康で豊かに暮らせる社会づくりを目指す第37回全国健康福祉祭ぎふ大会（ねんりんピック岐阜2025）が10月18日〜21日、岐阜県内で開かれました。新潟県選手団は、14競技に約100人が出場。「清流に 輝け ひろがれ 長寿の輪」のテーマの下、熱い戦いを繰り広げ、全国の仲間たちと交流の輪を広げました。

総開会式は18日、岐阜市の岐阜メモリアルセンター長良川競技場で、約1万3千人が参加して行われました。

総開会式は18日、岐阜市の岐阜メモリアルセンター長良川競技場で、約1万3千人が参加して行われました。

総開会式は18日、岐阜市の岐阜メモリアルセンター長良川競技場で、約1万3千人が参加して行われました。

総開会式は18日、岐阜市の岐阜メモリアルセンター長良川競技場で、約1万3千人が参加して行われました。



ブロック1位 ソフトバレーの「たかだかざまき」チーム



3位 マラソン5キロ 70歳以上男子の齊藤正幸さん

奮闘!! 県勢



3位 バウンドテニスの「トキ☆めき越後」チーム



個人2位 ゴルフの土屋博さん(写真右)

熱い戦い
力強く

ねんりんピック岐阜2025 新潟県選手団の記録

10月18～21日

| 種目 | チーム | 成績 |
|--------|---------------------------|---|
| 卓球 | 新潟県 | 第一次予選リーグ戦 1勝1敗(2位) 第二次予選リーグ戦(2位グループ) 0勝2敗 |
| テニス | 朱鷺 & コシヒカリ | 予選リーグ戦 3勝0敗(1位) 予選1位グループ決勝トーナメント出場 ベスト16 |
| ソフトテニス | 新潟県 | 予選リーグ戦 1勝2敗(3位) 予選3位グループ決勝トーナメント出場 |
| ソフトボール | 新発田SBC | 交流大会トーナメント戦1回戦 新潟県 0-14 愛知県 |
| ゲートボール | GBF (津南町) 小戸クラブ (新発田市) | 予選リーグ戦 2勝2敗 予選リーグ戦 0勝3敗 |
| ゴルフ | | 【団体】 43位 / 56チーム 【個人】 大屋 雄二 (60～64歳) 32位 / 43人 土屋 博 (65～69歳) 2位 / 47人 古城 勝彦 (70歳以上) 79位 / 82人 |
| マラソン | | 斉藤 正幸 (男子70歳以上5キロ) 3位 佐藤 義弘 (男子70歳未満10キロ) 23位 |
| 弓道 | 新潟県 | 予選一回戦 9中 / 20射 二次予選 5中 / 20射 計14中 |

| 種目 | チーム | 成績 |
|-----------|---------------|--|
| 剣道 | 新潟県 | 予選リーグ戦 2勝0敗(第3ブロック1位) 決勝トーナメント出場 ベスト16 |
| グラウンドゴルフ | 糸魚川チーム (糸魚川市) | 男子の部 ▷ 50位 室橋 喜一 女子の部 ▷ 12位 五十嵐 カヨ子 ▷ 16位 下杉 みどり ▷ 75位 猪又 好 ▷ 115位 大久保 清子 ▷ 145位 西澤 昭子 |
| ソフトバレーボール | たかだかざまき (柏崎市) | 予選リーグ戦 2勝0敗(1位) 順位別リーグ戦第1位グループ(Aブロック) 2勝0敗【優勝】 |
| 太極拳 | チームさんわ (上越市) | 20位 / 53チーム |
| ダンススポーツ | 新潟県 | 【団体戦】 2次予選出場 【個人戦】 準決勝出場 信田組(ワルツ・タンゴ) 3次予選出場 品田組(チャチャチャ) 2次予選出場 横山組(ワルツ・タンゴ) 品田組(ルンバ) リダンス 関根組(ワルツ・タンゴ・ルンバ・チャチャチャ) |
| バウンドテニス | トキ☆めき越後 | 予選リーグ 2勝0敗(1位) 決勝トーナメント 1勝1敗【3位】 |

シニアの生きがいづくりや社会参加を目指す「シニアカレッジ新潟」が令和7年度のカリキュラムを終え、新潟、長岡、上越の3会場で最終の特別講義と卒業式が行われました。3会場合わせて133人の卒業生が一人ずつ修了証書を受け、晴れやかな表情を見せていました。

令和7年度卒業式



新潟 葭原明弘学長から一人ずつ証書を受ける卒業生たち＝10月28日

学んだ知識は地域の力

卒業生133人晴れやか

葭原学長 式辞 仲間づくり 人生豊かに

今回の卒業生は、新潟が91人、長岡が24人、上越が18人。令和6年度に入学し、2年間にわたってさまざまな分野の講義を受けました。特別講義と卒業式は、新潟会場が10月28日に新潟ユニゾンプラザ、長岡会場が同30日にアトリウム長岡、上越会場が同31日にアートホテル上越で行われ

ました。

新潟会場では、卒業式に先立ち、葭原明弘学長（新潟大学大学院医歯学総合研究科教授）が「地域で楽しさをを見つけよう」と題して特別講義を行いました。講義の要旨は5面に掲載。卒業式では、卒業生が一人ずつ登壇して、葭原学長から修了証書を受けまし

た。緊張した様子も見られましたが、どの顔にも2年間学び通した安堵と喜びの表情が浮かんでいました。修了証書授与の後、葭原学長は「学び続ける力は人生を豊かにし、地域を活性化させる。今日の卒業は地域の出発点。皆さんが地域と共に歩んでくれることを期待しています」と式辞を述べました。

卒業式を終えた後は、それぞれ談笑したり記念撮影したり、和やかな時間を過ごしていました。

卒業生の一人、牧野美佐子さん（73）＝新潟市中央区＝は「いろいろ新しいことを学べて、地域に生かせるようなことがたくさんあった。仲間づくりもできて本当に楽しかったです」と笑顔で話していました。



長岡 卒業式で記念写真に収まる卒業生たち＝10月30日



上越 葭原明弘学長の特別講義に耳を傾ける卒業生たち＝10月31日

「わがこと化」が地域づくりの鍵

シニアカレッジ新潟の

葭原明弘学長は、新潟、長岡、上越の3会場で、卒業式の前に「地域で楽しさを見つけよう」と題して特別講義を行いました。新潟会場での講義要旨は次の通り。

× ×

地域おこしで業者の手による大きなイベントが開かれることがあるが、単発で終わらせてしまつて

葭原明弘学長 特別講義



特別講義を行う葭原明弘学長

は意味がない。地域の人が細かいところまでずっと

関わり続けて「文化」に育てることが大切だ。

地域づくりがうまく行くかどうかは、それぞれが「わがこと化」できるかどうかにかかっている。行政は高いところからではなく、住民や企業と一緒に知恵を出し合ってほしい。

一般的に、行政は新しいアイデアを出すのは苦手だが、継続するのは得

意。一般人は面白いことを思いつくが、それを継続するのは苦手。それだけの得意を生かして一緒に関わりたい。

地域づくりには専門的な技術や方法論よりもコミュニケーションが大事だ。いろいろな場に参加して「わがこと化」を広めよう。気になっただけかが声を上げ、それを組織につなぐ中間的存在も必要。皆さんが現役時代に培ったものを次世代に引き継いでもらいたい。

難聴と軽度の認知症があり、理解が難しいこともあったが、皆さんの温かい支援で楽しく受講することができた。いただいた資料を今後の暮らしに役立てたい。

その分野の専門家の方々が時間を割いて教壇に立ってくださった。この年齢になってこんなに素晴らしい機会があるなんて。受講して本当によかった。

受講者の声 (アンケートから抜粋)

防災士養成について学んで、資格取得に向けて頑張っている。地域の防災コミュニティ形成に積極的に参加し、防災・減災に対応していきたい。

非常に充実した講義内容で、新たに得た知識も多かった。ここで得た知識を生活に役立てたい。受講生同士の交流をもっと深められたらなおよかった。

仲良くしていただいたグループの皆さんとは今後も交流が続きそうでうれしい。欲を言えば、新潟の文化・芸術に関する講義や野外学習があってもよかった。

定年退職後、外部との接点が薄れがちな生活の中で、講義に出かけるのは生活のメリハリと楽しみのになった。できれば継続していろいろな知識を吸収したい。

新潟県福祉人材センターを
利用してみませんか



福祉人材センター
ホームページ

相談無料
お問い合わせ

新潟県福祉人材センター

TEL. **025-281-5523**

9:00~17:00 (土・日・祝日・年末・年始は除く)



福祉の仕事専門の
無料職業紹介を
行っています!

きらっ

人

インタビュー

妙高市で子ども食堂などを運営している「NPO法人あいあう」活動費をまかなうため、週1回のレストラン運営も始めています。



NPO 法人あいあう

2017年、妙高市の願生寺で子ども食堂「あいあう食堂」をオープン。フードシェアリング、学用品などのリユースにも取り組み、22年にNPO法人設立。22年に旧斐太南保育園に拠点を移し、ボランティア約70人。



「住職のいないお寺を引き継ぐことになったから、一緒にやらないか?」それが元カレであり、今の夫からの復縁プロポーズで、2011年に妙高市へ嫁いできました。建物はおちこち壊れて汚れ、掃除に明け暮れる毎日。人の心はお寺から離れ、道を歩く人影も見えず、行事も途絶えていました。つながりもお金もない。私たちに

はお似合いの試練だったのかもしれません。このお寺を地域のよりどころにしたいと考えていた矢先、上越市のお寺で「子ども食堂」の話を聞きました。私は子ども時代、親に頼れず、不安な日々を過ごしました。子どもが一人でできる食堂って、なんてすてきなんだろう。うちのお寺には、僧侶の話を聞く広間があり、檀家さんとお供え物のコメが集まる。場所も人もコメもそろっている。やってみようと動き出したところ、行政や学校の協力も得られ、幅広い年代から「手伝うよ」「定年退職したけれど、まだ動ける」「孫は離れて暮らしていて、子どもに何かしてあげたいと思っていた」と声をかけていただきました。大人の善意を受け止

存続が危ぶまれたお寺を
地域の人々のよりどころに

NPO 法人あいあう 代表理事 平出京子さん

「あいあう食堂」から
温かな人と人の輪が広がる
子どもの笑顔はみんなの笑顔



大阪出身。
真宗大谷派大高山願生寺の坊主

める場も求められていたのです。



団体設立当初、願生寺で子ども食堂を開催

命綱としてコメを配る 学用品リユースも

2019年にはフードシェアリング事業も始め、一人親世帯を中心に不定期でコメを配布しました。しかし、新型コロナウイルス禍で、利用者が失業などに追い込まれるのを目の当たりにすると、悠長にやっている場合ではない、毎月当てにできるものにしなければと焦りが募りました。当時は助成金を申請する力量もなく、手探り状態。フードバンクなどと協力し、なんとか配布回数を増やしました。

子ども服を集め、境内で無料頒布会も開催。ランドセルなどの学用品も寄付が集まり、リユース事業も立ち上げ

ました。お下がりの傷や不具合は、スタンプがメンテナンスします。仕分けや管理のノウハウも蓄積されていきました。

多様性あふれる大所帯 ビジョンを共有

40歳を過ぎてからの結婚だったこともあり、養子縁組で2人の息子を迎え、自分自身も子育て真っ最中。お寺の仕事もあり、あいあうの事務を一人で抱えきれなくなっていました。20



旧斐太南保育園に移転して子ども食堂を開催。妙高市内の子どもたちが集まった



中学校の制服や体操着、習字道具など学用品もリユース

22年には旧斐太南保育園に拠点を移し、NPO法人を設立。業務を分担し、助成事業や委託事業も取り組めるようになりました。園内にレストランをオープンして自己資金も稼ぎつつ、有償の事務員も雇用しています。

あいあうの利用登録者数は毎月70世帯にまで増え、社会的責任も大きくなりました。ボランティアが70人いる大所帯で、多様性が魅力である一方、課題も多いです。専門家の指導を受けて改めて団体のビジョンを言語化し、運



レストラン「あい♡たす kitchen」。今年閉店した地元のカレー店「ふくふく」の味を引き継いでいる



NPO法人化で収益事業も 持続可能な組織運営へ



食材や日用品配布の準備をするスタッフ。寄付でまかなえない場合は助成金で購入

営組織の基盤が整いつつあります。多くの方々の温かい支えがあつてこまでこられました。私はこの12月で代表を交代しますが、子どもだけでなく、みんなが笑顔になれるこの場所を、後方から支えていきます。

歳末たすけあい運動にご協力を

NHK 歳末たすけあい
 同国海外を主として、国内で孤立した国際社会の中にいる人々、生活に困難を呈する人々などへの支援活動に役立てていただきます。

+ NHK 海外たすけあい
 日本赤十字社を通じて、世界各地で、戦争、災害、病気などに苦しむ人々のために役立てていただきます。



NHK歳末たすけあいのチラシ

県遊技業協同組合

新潟県遊技業協同組合からの寄付を原資にして、県共同募金会が福祉施設へ利用者の送迎用車両を贈る「障害者支援施設車両助成交付式」が11月11日、新潟市中央区の新潟ユニゾンプラザで開かれました。写真Ⅱ。

贈呈車両はワンボックスタイプの乗用車です。

プの乗用車です。
式では、県遊技業協組の朴^{パク}

永雅理事長が「この助成も今年で14回目になりますが、贈呈した車両を地域で見かける機会が増え、地域の皆様のお役に立てることをうれしく思います」とあいさつしました。

贈呈された社会福祉法人たいよう福祉会（柏崎市）の新沢三和管理者と特定非営利活動法人あいこうえん翼（燕市）の八子裕也理事は「材料搬入や納品に欠かせず、運搬環境が充実し感謝しています」「助成いただいた車のおかげで、乗り降りに苦

「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、歳末たすけあい運動が12月1日から31日まで行われています。

期間中に寄せられた募金は、地域の高齢者世帯へのおせち配食サービスや、年末年始の家事援助、障害者施設でのクリスマス事業などに活用されます。

また、NHK歳末たすけあい募金も12月1日から25日まで、県内の金融機関窓口などで受け付けています。こちらの募金は、こども食堂や難病患者支援団体



「労していた利用者の利用回数が
増え、うれしく思います」と、
それぞれお礼を述べました。

などへの助成に役立てられます。
皆さまからのご協力をよろしく
お願いします。

日本ハムマー
ケティング（株）
様のご協力で、
「日本ハムお歳暮
ギフト」を購入す
ると売り上げの
一部が募金とな
る「寄付金つき商
品」を販売してい
ただけすることに
なりました。

対象となるお歳暮ギフトを購入すること、お住まいの地域の福祉課題を解決するためのさまざまな福祉活動に協力・参加できる仕組みとなっています。

得意先や、ご家族ご親戚等のお歳暮をご検討の際はぜひとも一考いただきますようお願いいたします。カタログや申込書をご用意しておりますので、お気軽にご連絡ください。ご協力をよろしく願います。

申し込み締め切りは12月12日。
問い合わせは新潟県共同募金会、
025(281)5532。

関西万博で3位と健闘した加茂市老人クラブ連合会
チーム(右側の青いユニフォームを着た3人)



加茂市老人クラブ連合会は、オンラインの選考を突破して、10月

高年齢者向け Geesports
大阪で開かれた関西万博の「Geesports(ジースポーツ)大会」で、新潟県代表として出場した加茂市老人クラブ連合会が3位に輝きました。「これを機に、競技をさらに普及させたい」と関係者は喜んでいきます。

加茂のチーム、関西万博で躍動!!

1日の決勝大会に臨みました。大会には60代から90代まで幅広い年代の選手が出場。ジースポーツ用に開発された「ジェローグ」というゲームを3人1組で戦いました。加茂チームは、初戦で地元大阪のチームを下して勢いに乗りました。2回戦も京都のチームと接戦を繰り広げましたが、あと一歩及びませんでした。

選手として参加した加茂市老人クラブ連合会事務局長の青木敏男さん(69)は「初めは出場できるだけでいいと思っていたが、だんだん欲が出てきて頑張った。強豪相手にいい戦いができたので、次はリベンジしたい」と振り返ります。そして「万博出場はジースポーツを広めるいい機会になった。各市町村の老人クラブとも交流し、つながっていききたい」と期待を込めました。

加茂チームの監督コーチ役を務めた県老人クラブ連合会の田巻香苗事務局長(54)は「知らない人同士がすぐ仲良くなれるのがジースポーツの魅力。新しい挑戦に年齢は関係ない。来年度も体験会などでより多くの人に楽しさを伝えていきたい」と話していました。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和7年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
コチラから
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料(1名あたり)

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増適用

| 保険金の種類 | | プラン | 基本プラン | 天災・地震補償プラン |
|--------|----------------------|--------|--------------|------------|
| ケガの補償 | 死亡保険金 | | 1,040万円 | |
| | 後遺障害保険金 | | 1,040万円(限度額) | |
| | 入院保険金日額 | | 6,500円 | |
| | 手術 保険金 | 入院中の手術 | 65,000円 | |
| | | 外来の手術 | 32,500円 | |
| | 通院保険金日額 | | 4,000円 | |
| 賠償責任 | 地震・噴火・津波による死傷 | | × | ○ |
| | 賠償責任保険金 (対人・対物共通) | | 5億円(限度額) | |
| 年間保険料 | | | 350円 | 500円 |

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も左記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉

損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL:03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL:03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

〈SJ24-10057より抜粋〉

福祉に尽力これからも

魚沼市で第75回県民福祉大会

「共に生き共につくる福祉社会を目指して」をスローガンに、第75回新潟県民福祉大会が11月6日、魚沼市響きの森文化会館で開かれました。福祉の取り組みに功績のあった人たちが、全県から参加した約800人の前で表彰を受けました。

大会は県、県社会福祉協議会、県共同募金会と、開催地の魚沼市、魚沼市社会

福祉協議会の主催で開かれました。

会の冒頭、県社協の高井

盛雄会長が「頻発化・激甚化する災害、少子高齢化の急速な進行などで、地域福祉活動の拡充や強化はより一層大きな課題となつてい

る。地域の多様なニーズを受け止め、制度や分野の垣根を越えた地域福祉活動の進展に引き続き取り組んで参りたい」とあいさつ。これに続いて、花角英世県知事のあいさつを笠島公一副知事が代読。魚沼市の内田幹夫市長があいさつしました。

その後、表彰式が行われ、県知事表彰に4人と5組、県社協会長表彰に178人と11団体、県共同募金会長表彰に46人と9地区・団体、2校が選ばれ、代表が表彰状を受けました。被表彰者を代表し、県知事表彰の里親部門で賞状を受けた小林有子さん（新発田市）が「皆様のご指導とご支援に心から感謝します。今日の表彰を機に被表彰者一同、地域福祉のさらなる発展のために一層の努力を重ねる所存です」と謝辞を述べました。続く記念講演では、小竹向原内科・糖尿病内科クリニックの石井博尚院長が「糖尿病を良くする・予防する10の美味しい食べ方」と題して、具体的な方法をアドバイスしました。

来年度の県民福祉大会は糸魚川市で開かれます。



県民福祉大会の冒頭であいさつする高井盛雄・県社協会長



県知事表彰者を代表して賞状を受ける新発田市の小林有子さん



県社協会長表彰者を代表して賞状を受ける魚沼市の大久保康夫さん



県共同募金会長表彰者を代表して賞状を受ける小千谷市の今井隆夫さん

Adecco



アデコ新潟支社は、地域に根ざした人材サービスを通じて、現場を支えています。
「人手が足りない」「働きたいけど不安がある」——そんな声に、私たちは耳を傾け、最適なマッチングを実現。

新潟で お仕事探すなら「Adecco」にご相談ください。



アデコ 🔍

<https://www.adecco.com/ja-jp>



お互いさまの気持ちでご近所に甘えることも大切、と力説する信友直子さん



おなじみのにぎやかな口調で、楽しく暮らすコツなどを披露する平野レミさん(右)

ゆとりと笑顔を忘れずに

福祉・介護・健康フェア 2025 in 新潟



①車いすに試し乗りする来場者
②長い列が途絶えなかった農福連携
マルシエの卵つかみ取り



保育士などの「お仕事体験」に臨む子どもたち

「福祉・介護・健康フェア2025 in 新潟」が11月8日、新潟市中央区の新潟市産業振興センターで開かれました。約3500人が来場し、講演や盛りだくさんの体験イベントなどを通して、福祉や健康づくりについて考えました。

主催は新潟日報社、新潟県社会福祉協議会、新潟市

社会福祉協議会。

メインステージでは、料理愛好家でシャンソン歌手の平野レミさんと、映画「ぼけますから、よろしくお願います。」を監督した信友直子さんがプレミアムトークを行いました。

平野さんは自宅のキッチンやアイデア料理などの画像をユーモアたっぷりに紹介。「今この一瞬、この一食を楽しみましょう」と呼びかけ、最後に「バラ色の人生」を熱唱しました。

信友さんは、認知症になった母親とそれを介護する父親のエピソードを紹介し、「認知症の本人に笑顔を向けることが大切。プロに任せたりご近所に甘えたりして、家族は心の余裕を保つようにしてほしい」と強調しました。



認知症治療の現状などを解説する池内健・新潟大学脳研究所教授



歯を磨く習慣の大切さなどを学んだ「健康立県にいがたトークショー」



日頃磨いた実技を競った県介護技術コンテスト

福祉の取り組みに役立てて

県生保協が寄付

生命保険協会新潟県協会（会長Ⅱ阿部美佐子・住友生命新潟支社長）は11月10日、県内で活動するボランティアグループの備品購入費や物品など計260万円余りを寄付しました。

同協会では毎年、加盟する県内22社の職員約5千人を対象に募金を募り、これを原資として県内各地の福祉の取り組みに寄付を行う



贈呈式の後で記念撮影する生保協県協会役員や寄付を受けた団体代表ら



聖籠町社協に贈られる福祉巡回車と、関係者たち

ています。令和7年度の寄付金額は、269万7628円となりました。

今年度は聖籠町社会福祉協議会に福祉巡回車1台を寄贈したほか、角田浜支え合いの会（新潟市西蒲区）など八つのボランティア団体に活動支援金を贈りました。このほか県上越地域振興局直江津港湾事務所（上越市）にAED、県立障がい者支援施設コローニーにいがた白岩の里（長岡市）に車いすを贈るなどしました。

11月10日、新潟市中央区の新潟グランドホテルで贈呈式が行われ、県生保協の阿部会長が各団体の代表者に目録を渡し、県社会福祉協議会の高井盛雄会長が阿部会長に感謝状を贈りました。

パレット新潟店営業日

| 2025年 12月 | | | | | | | 2026年 1月 | | | | | | |
|-----------|----|----|----|----|----|----|----------|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | | | | | 1 | 2 | 3 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 28 | 29 | 30 | 31 | | | | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |

営業時間 11:30～16:30 □…は休業日



福祉の店 パレット情報

編集後記

佐渡の無名異焼のマグカップを愛用しています。無名異特有の赤土色を高台に残し、器全体は濃緑のグラデーション。そのたぐいまれな佐渡の美しい海を連想させます。

前の職場を退職する時にチームの同僚から饒別まで家に置いていました。これが、温かいものが恋しい季節になりました。職場に持ち込みました。今もそれでコーヒーを飲みながらこの原稿を書いています。

「いいものを作ろう」と思っているうちは、いいものを持てない。そこは汚れた気持ちは裸の気持ちになることだ。マックを眺めていると、こんな言葉を思い出します。佐渡で勤務していた若い頃、公営共にお世話になった金工家、三代目宮田藍堂さん（1926～2007）の口癖でした。マックと藍堂さんは直接関係はないのですが、筆者の中では佐渡という糸で両者がつながっています。

「答えなんかすぐには出りやせんわ。でもその方が面白いだろ？」。自身の創作について藍堂さんはこんなこともよく話していました。

来年は藍堂さんの生誕100年です。周囲を見れば答えの出ない問題ばかり。いろいろな場面ですり合ったり、真つすぐ向き合ったり、泉下の藍堂先生に気合を入れられてる気がします。

（橋）

「福祉にいがた」へ ご意見感想、情報をお寄せください

◆TEL 025 (281) 5613
◆FAX 025 (281) 5528
◆Eメール kikaku@fukushiniigata.or.jp

◆新潟県社会福祉協議会企画広報課
〒950-8575 新潟市中央区上所2-2-2
新潟ユニゾンプラザ3階

お待ちしております
✧

福祉にいがた

オアシス21

第110号 令和7年12月発行

発行・編集 社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
制作 島津印刷株式会社

〒950-8575 新潟市中央区上所2丁目2-2（新潟ユニゾンプラザ3階）TEL.025 (285) 1400
〒957-0000 新潟市富塚1419 TEL.0254 (27) 2101 ISSN 2188-9538